

## カーレスキュー365会員特約

**第1条 (名称)** 本カードは、カード発行会社（以下「当社」という。）および株式会社ジェーシービー（以下両社を「JCB」という。）が発行するもので、「カーレスキュー 365」（以下「カード」という。）と称します。

**第2条 (会員)** 本特約、および別途JCBが定める「カーレスキュー 365 サービス利用規定」および「JCB会員規約」を承認のうえ入会を申し込み、JCBが認められた方を会員（以下「会員」という。）とし、JCBがカードを貸与します。

**第3条 (ロードサービスの利用)** 会員は、JCBがタイムズレスキュー株式会社（以下「運営者」という。）と提携したロードサービスの提供を受ける場合、別途定めるカーレスキュー 365 サービス利用規定に基づく方法により、その提供を受けるものとします。

**第4条 (会員情報の取り扱いおよび保護)** 1. 会員は、前条のロードサービスの提供を受けるために必要な会員情報（次項に定めるものをいう。）について、必要な保護措置をとったうえでJCBより運営者に預託されることに同意するものとします。 2. JCBが運営者に預託する会員情報は、JCBが保有する会員情報のうち、次の会員情報に限られるものとします。（1）会員の氏名、住所、生年月日、会員番号等、会員が入会申し込み時および変更届出時に申し出た事項（2）入退会の実況 3. 運営者は、ロードサービスの実施に必要な本人の連絡先等の情報を収集できるものとし、当該サービスの実施に必要な最小限の範囲で運営者提携のロードサービス実施者（以下「実施者」という。）に預託できるものとします。また、運営者は、JCBから預託されたことにより保有する会員情報についても、当該サービスの実施に必要な最小限の範囲で実施者へ再預託できるものとします。 4. 運営者および実施者は、預託された会員情報の保護のために必要な保護措置をとって厳正に管理するとともに、ロードサービスの提供の目的以外に利用しないものとします。

(TK338600・20140331)

## カーレスキュー365サービス利用規定

**第1条 (規定の目的等)** 1. 本規定はカード発行会社（以下「当社」という。）および株式会社ジェーシービー（以下両社を「JCB」という。）が発行するクレジットカード（以下「カード」という。）を保有する会員（以下「会員」という。）に対して提供するロードサービスに関する事項を定めたものです。 2. 会員はカード会員規約に基づき、本規定を承認の上、ロードサービスの提供を受けることができます。 3. JCBが必要と認めた場合には、JCBは本規定を変更することがあります。その際JCBは、その改定内容を書面その他の方法により、通知するものとします。

**第2条 (ロードサービスの機能)** 1. ロードサービスとは、JCBがタイムズレスキュー株式会社（以下「運営者」という。）と提携し、日本国内の対象地域でのJCBが認めた会員の運転する車両の事故・故障時の対応サービスおよび付帯サービス等をいいます。 2. ロードサービスの内容は別記「サービス附則」に記載しているとおりとします。

**第3条 (ロードサービスの利用方法)** 1. 会員は、カーレスキュー 365 デスクに連絡することによりロードサービスの提供を受けることができます。 2. 会員はロードサービスの提供を受ける場合、カードを提示するものとします。カードの提示がない場合は、前項にかかわらず、会員としてロードサービスの提供を受けられないものとします。 3. カードに表示されている会員以外のご利用できません。

**第4条 (会員の義務)** 会員は以下の事項を遵守するものとします。 1. 会員はカードおよびロードサービスの権利を他人に譲渡・貸与・相続または担保提供してはなりません。 2. 会員は常に交通規則を守り、他人に迷惑を及ぼすような行為をしてはなりません。 3. 会員はロードサービス等の提供を受けるとき、運営者提携のサービス実施者（以下「実施者」という。）の指示または注意にしたがうものとします。

**第5条 (ロードサービス時の責任)** ロードサービスは、実施者の責任において行われ、当該サービス提供に起因する車両の損傷、人身事故、損害等については、JCBの故意または過失による場合を除き、JCBは一切その責を負わないものとします。

**第6条 (ロードサービスを提供できない場合)** 以下の①から④に該当する場合には、ロードサービスが提供できない場合があります。 ①無資格・飲酒運転等で正常な運転ができない場合。 ②通常の自動車走行に不適切な場所。 ③ロードサービスの提供が合理的に不可能と判断される場所。 ④危険を伴う気象状態の場合。

**第7条 (権利の喪失)** 本規定におけるすべての権利はカード発行時からカードの有効期限までとします。ただし、以下の①から③に該当する場合には、カードの有効期限到来前とはいえども、会員としての権利は消滅するものとします。 ①会員がカードを退会する等会員資格を喪失したとき。 ②会員がカード会員規約および本規定上の義務に違反し、その違反が重要な違反となるとき。 ③その他会員の使用が不適当とJCBが合理的に判断した場合。

**第8条 (終了、中止、変更等)** 1. JCBが必要と認めた場合には、JCBはロードサービス内容の変更もしくは中止、または終了することがあります。その際JCBは、その改定内容を書面その他の方法により、通知するものとします。 2. ロードサービスは、日本国の法律の下に規制される場合があります。

**第9条 (合意管轄裁判所)** 会員は、会員とJCBまたは運営者との間で訴訟が生じた場合は、訴額のいかんにかかわらず会員の住所地、またはJCB（会員とJCBとの間の訴訟の場合）もしくは運営者（会員と運営者との間の訴訟の場合）の本社、支店、営業所の所在地を管轄する簡易裁判所または地方裁判所を第一審の合意管轄裁判所とすることに同意するものとします。

## サービス附則

### 第1章 サービス内容

**第1条 (対象車両)** 会員が運転中に事故・故障等にあった車両でかつ車両重量3,000kg未満の自家用四輪車。

**第2条 (無料サービスの内容)** 1. 自力走行不能時の現場軽作業サービス 日本国内現場にて30分以内で実施可能な次の軽作業サービス（ただし、いくつかの作業をあわせて行った場合は合計所要時間が30分を限度とします。）(1)キー閉じ込み時の開錠サービス (2)バッテリー上がり時のジャンピングサービス (3)パンク時のスペアタイヤ交換による応急措置サービス (4)ガス欠時の給油サービス（作業のみ）(5)落差1m以内でタイヤ1本落輪している場合の落輪車両の引き上げサービス (6)その他、エアア抜き、ヒューズ交換、プラグ交換、燃料フィルターの交換等、現場対応が可能な軽作業等 ※「自力走行不能」とは、物理的に走行不能な場合（例えば、車が大破して動かない場合）かまたは道路交通法上走行が禁止されている場合（例えば、夜間でライトが作動しない場合）をいい、スタッドレスタイヤやチェーン等の装備が無いため雪道等で単にスリップする状態で走行できない場合等は含まないものとします。 2. レッカーサービス 事故または故障で自力走行不能となった車両の、現場から移動距離10kmまでを限度とした、レッカーによるけん引または積載車による運搬。 \*現場軽作業サービスにより自力走行可能となる場合およびキーを紛失した場合は対象外です。 \*移動先は、原則として、運営者が指定する最寄りの修理工場とします。

3. 付帯サービス 会員の自宅から直線距離100km以上遠方における事故または故障で自力走行不能となった車両が修理工場に入庫となった場合、次の各号のいずれか一つの緊急サポートを行います。ただし、送迎サービスを除き、重複利用はできません。(1)レンタカーサービス(1,800ccクラスを6時間まで/ガソリン代は自己負担)(2)緊急宿泊費用サービス(上限15,000円)(3)帰宅交通費サービス(上限20,000円)(4)送迎サービス(緊急宿泊費用サービス利用に伴う宿泊施設までの交通費、帰宅交通費サービス利用に伴う最寄の電車站・バス停までの交通費負担) ※交通機関について会員が指定することはできません。 前項について、料金は会員が立替払いをし、運営者が送付した所定請求書用紙等が会員に到達した日または通常到達し得べき日から1ヵ月以内に、会員が所定請求書および日付・領収印のある領収書を運営者に提出することを条件に月末締め切り・翌月末振込となります。

**第3条 (別料金)** 次の各号に定める費用は会員の負担となります。(1)電子ロック等特殊構造の鍵や盗難防止装置等が付いているなどにより開錠が困難な車両の運搬・開錠等にかかる費用実費。(2)バッテリーの充電費用。(3)タイヤ補修剤等によりパンクの応急処置を行う場合の補修費用およびタイヤ補修剤等代金実費。(4)給油ガソリン代金実費。(5)その他、交換・備付等を行った部品の代金、および補充・交換等を行った消耗品の代金実費。(6)ドーリーの使用等特殊作業を要する場合の特殊作業費用実費。(7)実施者が現場往復に要した有料道路・高速道路等利用料金およびカーフェリー乗船料金等、ならびにサービスの実施に必要な有料駐車場利用料金実費。(8)タイヤが2本以上落輪している車両の引上サービス費用実費。(9)車両が建物等に追衝突等した場合の車両引出し作業費用実費。(10)実施者が出勤したにも拘わらずサービス適用外であった場合（出勤後にキャンセルされた場合も含む）の出勤費用実費。

**第4条 (有償サービス)** 1. 会員が無料サービス以外のサービスを求めた場合は、すべて有償にて、実施者が対応可能な範囲で実施されます。  
2. 有償サービスについては、会員と実施者との間の別途有償契約によるものとします。 3. 有償サービスの料金は、特に運営者が認めた場合を除き、現場にて会員に現金またはカードにて実費精算していただきます。

#### **第2章 無料サービスで対応できないケース**

**第5条 (キーの閉じ込み)** (1) ヘルパー工具を使用して開錠できない場合 (特殊構造の鍵・セキュリティ装置付車両等)。 (2) 車両が他人名義の場合 (ただし、当該名義人その他当該車両のすべての権利者が開錠に承諾した場合を除く)。 (3) 会員または実施者がスペアキーを取ってくる方が便宜であると運営者および実施者が判断した場合。

**第6条 (落輪・落車等)** (1) タイヤが2本以上落輪している場合、または落輪本数を問わず落差が1mを超える場合の落輪車両引上。 (2) 車両が横転している場合。

**第7条 (天候等)** 台風・大雨・暴風・豪雪等の異常気象、地震・津波・噴火等の天災地変、もしくは戦争・暴動、または公権力の行使等により、作業が困難または危険な場合。

**第8条 (対応できない路面状況・地域等)** 道路以外 (砂浜等) の場所、レース・ラリーを目的とするなど通常の自動車走行に不適な場所、通行禁止道路・季節的閉鎖道路・一般車両が通行できない道路、出動車両の運行が極めて困難な地域、主務大臣等が通行禁止を指定した地域、離島についてのロードサービスはお断りするケースがあります。

**第9条 (その他)** (1) 故意によるかまたは車両メーカー所定の範囲を超えた使用・改造等による事故・故障等。 (2) 無資格、酒酔い運転、薬物使用等法令上禁止されている状態で運転中の事故・故障等、またはサービス実施後に違法運転がなされるおそれのある車両。 (3) 航空機・船舶・鉄道・自動車等による輸送期間中の事故・故障等。 (4) 違法な改造がなされている車両・車検登録のない車両・特殊工作装置等を装備した車両。 (5) 短期間内に同一または類似内容の出動依頼が複数回ある場合。 (6) 第三者の所有物の破損、第三者の権利・利益の制限・侵害等を伴う可能性がある場合に、当該第三者の承諾が得られない場合。

#### **第3章 その他**

**第10条 (サービス提供の条件)** 次の各号の条件を満たすことが、サービス実施の条件となります。 (1) カーレスキュー 365 デスクにサービスの依頼をし、会員番号・氏名・住所等を告知すること。 (2) 会員がサービス実施前に本カード並びに自動車運転免許証を実施者に提示し、サービスを受けた後に運営者所定作業報告書を確認しこれに署名すること。 (3) サービスの実施に伴い当該車両に損傷などが生じ得る可能性が予測される場合に、この損傷などにつき実施者等を免責する旨の念書に会員が署名すること。 (4) 会員が立会うこと。ただし、次号の場合を除きレッカー車によるけん引および積載車による運搬に同行する必要はなく、また会員が負傷等により立会うことができない場合は会員から委任された者による立会いでもこの条件を満たすものとします。 (5) 危険物運搬車両については、危険物取扱者免許の保持者がサービスに同行すること。 (6) 警察への届け出を要する事故については、会員が警察への届け出を済ませておりかつサービスの実施につき警察の許可を受けていること。 (7) サービスの実施に必要な実施者の指示に従うこと。

**第11条 (サービスの実施)** サービスは、運営者の取次ぎにより実施者の責任で実施されます。

**第12条 (サービスの併用)** 会員は、同一の事故・故障等につき、本サービスと第三者が提供または手配するサービスとを併用できないものとします。

以上  
(TK338699・20140331)